

◎知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」

～確かな学力、豊かな人間性、健康・体力～

◎「生きる力」を具体化し、教育課程全体を通して育成を目指す「資質・能力の3つの柱」

- 生きて働く「知識・技能」の習得 ○ 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
- 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

◎社会的・職業的自立に必要な基盤となる「基礎的・汎用的能力」の育成

令和7年度

棚倉町キャリア教育推進プラン

「役割」意識を抜け  
自らの人生を舵取りする力の育成  
—「価値付け、つなぎ、語らせる」関わりを通して—

◎キャリア教育の視点で学びを組織

- 今の学びを将来へ、校種をつないで学ぶ
- 自分で考え、決めて、主体的に学ぶ
- 肯定的・対話的な関わりで学ぶ
- 課題解決型の体験活動で学ぶ

◎「価値付け、つなぎ、語らせる」教師

- 新たな見方を提示する「価値付ける」
- 多様な見方と状況と関連付け「つなげる」
- よさや成長を表明する「語らせる」
- 自ら学び続ける「自己マネジメント力」

持続可能な地域社会の創り手を育成するキャリア教育

～学びを過去から今、そして将来につなぐ（基礎的・汎用的能力）の育成～

地域教育資源活用

関係機関連携活用

人間関係形成・社会形成能力

自己理解・自己管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

夢

夢

夢



志

- ◎ コミュニティ・スクールの推進
- ◎ 学校支援地域本部等との連携



- ◎ 社会教育との連携
- ◎ 地域人材（高齢者、成人、青少年）との連携
- ◎ 各地域の祭りなど地域行事との連携



- ◎ 地域工場、事業所、施設等との連携
- ◎ 子供育成会等との連携

未来を担う子供たちの「学び」を地域全体で支援し、保・幼・小・中・高と資質・能力を育て、キャリア発達を促す教育活動の推進

キャリア発達

高等学校

進路の現実的探索・試行社会的移行準備の時期

中学校

進路の現実的選択と暫定的選択の時期

小学校

進路の探索・選択の基盤形成の時期  
幼稚園・保育園  
人格形成の基礎の育成の時期

役割意識を社会や人生に抜け、志（社会での自らの役割や生き方）を持ち、目標を立て計画的に取り組む態度を育む時期

友達や地域社会との関わりを通して、自分なりの夢を育て、役割意識を学級から全校、そして校外に抜け、社会性や主体性を育む

家庭や園における人との関わりや、認められた喜びから自信をもたせる

自分で決めて主体的に学び続ける自己マネジメント力（RVPDCA）を育成する教育活動の推進



自ら課題を発見し、他者との関わりを通して主体的に課題を解決し、新たな課題に立ち向かう子ども見透しと振り返りが学び続ける原動力となる

特別活動を要にしたキャリア教育の推進と「心理的安全性」を高める人間関係づくり

「キャリア教育意識調査」の実施と活用による基礎的・汎用的能力の育成

学校運営協議会等による評価

教育委員会評価委員会による評価

- ◎ 町長部局
- ◎ 企業・商工団体
- ◇ ドリームマップ
- ◇ 「チャレキッズ」（小学生社会職場体験）



◇ 職場体験学習（中2）



- ◎ 学芸員の支援による「棚倉町の歴史探究学習」
- ◎ 福祉関係団体
- ◎ 警察・消防署等
- ◎ スポーツ団体
- ◎ 文化団体
- ◎ 大学等
- ◎ 棚倉町活性化協会
- ◎ 社会教育団体
- ◎ 民間教育事業者